



東京財団政策研究所  
THE TOKYO FOUNDATION FOR POLICY RESEARCH

## 第 115 回東京財団政策研究所フォーラム 「米中覇権争いの政治経済学」

### プログラム

日時：2019年3月27日（水） 14:30～17:00（開場 14:00）

会場：六本木グランドタワー9F ベルサール Room H

（東京都港区六本木 3-2-1 六本木グランドタワー9階）

言語：日本語

#### 14:30 開会

開会挨拶 加藤創太（東京財団政策研究所常務理事兼研究主幹）

#### 14:35～16:05 各登壇者からの発表

発表1（14:35～15:05）：手嶋 龍一（外交ジャーナリスト）

「トランプ政権のアジア・リバランスの光と影」

発表2（15:05～15:35）：吉崎 達彦（双日総合研究所チーフエコノミスト）

「米中新冷戦時代の日本ファースト戦略」

発表3（15:35～16:05）：柯 隆（東京財団政策研究所主席研究員）

「米中覇権争いの政治経済学」

#### 16:05～16:35 全員でディスカッション

モデレーター：伊藤 洋一（三井住友トラスト基礎研究所主席研究員）

#### 16:35～17:00 質疑応答

#### 17:00 閉会



東京財団政策研究所  
THE TOKYO FOUNDATION FOR POLICY RESEARCH

## 登壇者略歴

(敬称略、50音順)

### 伊藤 洋一 (三井住友トラスト基礎研究所主席研究員) ※モデレーター



1950年長野県生まれ。現在、三井住友トラスト基礎研究所主席研究員。金融市場からマクロ経済、特にデジタル経済を専門とする。東京新聞(毎週土曜日、本音のコラム)、共同通信社(日本経済診断)、日経ビジネス(書評)などに定期寄稿。著書に『ITとカーズト:インド・成長の秘密と苦悩』(日本経済新聞出版社)、『カウンターから日本が見える』(新潮新書)、『上品で美しい国家』(ビジネス社2006年)、『日本力』(講談社2005年)、『スピードの経済』(日本経済新聞社1997年)、『ビッグバン時代のネット活用術』(東洋経済新報社1998年)、『グリーンスパンは神様か』(TBSブリタニカ2001年)。訳書に『グリーンスパンの魔術』(日本経済新聞社2000年)、『欧州の挑戦』(時事通信社1992年)など。

### 柯 隆 (東京財団政策研究所主席研究員)



1963年、中華人民共和国・江蘇省南京市生まれ。1988年来日、愛知大学法経学部入学。1992年、同大卒業。1994年、名古屋大学大学院修士課程修了(経済学修士号取得)。長銀総合研究所国際調査部研究員(1998年まで)。1998～2006年、富士通総研経済研究所主任研究員、2006年より同主席研究員を経て、現職。



東京財団政策研究所  
THE TOKYO FOUNDATION FOR POLICY RESEARCH

### 手嶋 龍一 (外交ジャーナリスト)



1974年に日本放送協会に入局し、政治部記者として総理官邸、外務省、自民党を担当。1987年からワシントン特派員とホワイトハウスを担当し、東西冷戦の終焉に立ち会う。1990年の湾岸戦争では最前線へ。1994年にハーバード大学 CFIA・国際問題研究所に招聘される。その後、ドイツのボン支局長を経て、1997年からワシントン支局長を8年間にわたって務める。2001年9.11同時多発テロ事件に際しては、11日間の昼夜連続の中継放送を担い、冷静で的確な報道で視聴者の支持を得た。

2005年NHKから独立し、日本で初めてのインテリジェンス小説『ウルトラ・ダラー』を発表。姉妹篇『スギハラ・ダラー』とあわせて50万部の大ヒットに。近著には少数の政治指導者に強大な決定権を委ねる危うさを警告した『独裁の宴』、米中の対立が朝鮮半島情勢に影を落とすなど、現下の東アジア政局を読み解いた『米中衝突』（いずれも中公新書・佐藤優氏と共著）がある。現在は、大学や外交研究機関で外交・安全保障を中心に後進の指導にも熱心に取り組んでいる。

### 吉崎 達彦 (双日総合研究所チーフエコノミスト)



1960年富山県生まれ。1984年一橋大学社会学部卒、日商岩井（株）入社。米ブルッキングス研究所客員研究員、経済同友会代表幹事秘書・調査役などを経て企業エコノミストに。日商岩井とニチメンの合併を機に2004年から現職。著書に『アメリカの論理』『1985年』『気づいたら先頭に立っていた日本経済』（新潮新書）、『オバマは世界を救えるか』（新潮社）、『溜池通信いかにもこれが経済』など。ウェブサイト『溜池通信』（<http://tameike.net>）を主宰。テレビ東京『モーニングサテライト』、文化放送『くにまるジャパン極』、BS-TBS『Biz Square』などでコメンテーターを務める。フジサンケイグループから第14回正論新風賞受賞。